



平成 26 年 4 月 22 日

各 位

会社名 三井金属鉱業株式会社
 代表者名 代表取締役社長 仙田 貞雄
 (コード番号 5706 東)
 お問合せ先 IR・広報室長 境 克也
 (TEL. 03-5437-8028)

減損損失の計上および業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、以下のとおり、持分法適用関連会社において減損損失を計上する見通しとなりました。この減損損失および最近の業績の動向等を踏まえ、平成 26 年 2 月 7 日に公表した平成 26 年 3 月期連結業績予想を下記のとおり修正することといたしましたのでお知らせします。

記

1. 平成 26 年 3 月期連結業績予想数値の修正 (平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

(金額の単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	435,700	22,300	22,400	14,100	円 銭 24.69
今回発表予想 (B)	441,000	25,700	13,600	3,600	6.30
増 減 額 (B - A)	5,300	3,400	△8,800	△10,500	-
増 減 率 (%)	1.2	15.2	△39.3	△74.5	-
(ご参考)前期実績 (平成25年3月期)	417,219	16,557	16,194	9,910	17.35

2. 修正の理由

前回発表予想(平成 26 年 2 月 7 日)に対し、各セグメントとも総じて好調に推移したことにより、売上高および営業利益は増加する見込みですが、一方では、銅鉱床開発プロジェクトに係る減損損失(*) 約 136 億円等により、経常利益および当期純利益が減少する見込みであることから、上記のとおり修正いたします。

(注)上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、今後様々な要因により実際の業績が記載の予想数値と異なる可能性があります。

<（*）銅鉱床開発プロジェクトに係る減損損失の計上について>

（1）対象資産

当社の持分法適用関連会社であるパンパシフィック・カッパー株式会社（*1）（本社：東京都千代田区 以下「PPC 社」）が、その子会社である SCM Minera Lumina Copper Chile（*2）（本社：チリ国サンチャゴ 以下「MLCC 社」）を通じて推進している「カセロネス銅・モリブデン鉱床開発プロジェクト」関連資産、および同じく PPC 社の子会社である Compania Minera Quechua S.A.（*3）（本社：ペルー国リマ 以下「CMQ 社」）を通じて推進している「ケチュア銅鉱床開発プロジェクト」関連資産

（*1）当社および JX 日鉱日石金属株式会社の共同出資による銅事業会社

（*2）PPC 社が、三井物産株式会社と共同出資しているプロジェクト会社

（*3）PPC 社の全額出資プロジェクト会社

（2）減損損失の計上額：約 136 億円

<内訳>

カセロネス銅・モリブデン鉱床開発プロジェクト：約 131 億円

ケチュア銅鉱床開発プロジェクト：約 5 億円

（3）減損損失発生の経緯および理由

カセロネス銅・モリブデン鉱床開発プロジェクトは、平成 25 年 3 月の電気銅生産開始に続き、平成 26 年 5 月に銅精鉱及びモリブデン精鉱の生産開始を予定しております。また、ケチュア銅鉱床開発プロジェクトは、フィージビリティスタディ（鉱量計算、設備の基本設計、経済性評価等）を終了した段階にあります。

今般、MLCC 社および CMQ 社において、足下の銅価格の下落等を踏まえ、IFRS（国際財務報告基準）に基づく事業性資産の減損テストを実施した結果、当該資産から生じると見込まれる将来キャッシュ・フローの現在価値が帳簿価額を下回ることとなったため減損処理を行うものです。

以 上